

(理念)

暖もりのある笑顔と
 思いやりの心があふれる
 和やかなわが家

(基本理念)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

(令和2年度事業計画)

	ビジョン	令和2年度事業計画
1	利用者へより質の高いサービスの提供	① マニュアル等の定期的見直し ② 第三者評価の継続実施 ③ 苦情解決・相談体制の整備 ④ 個人情報保護体制の整備 ⑤ 全職員の法人理念や基本方針の理解および周知徹底 ⑥ 適正な職員配置による利用者への質の高いサービス提供
2	利用者の満足を把握する	① 利用者満足度調査の定期実施 ② 利用者のニーズを把握 ③ 苦情解決委員会等での利用者満足度向上に向けた取り組み ④ 法人定期広報誌による利用者満足度について掲載
3	職員の資質向上	① 人事考課制度による職員育成と人材活用 ② OJT・OFF - JT・SDS への実践 ③ 職場改善意識の向上 ④ 職員提案(自己申告)等による改善 ⑤ 職員の虐待防止、法令遵守に対する研修及び周知徹底 ⑥ 各種団体が主催する研修会へ積極的に参加
4	職場が働きがいを持てる職場づくり	① キャリアパス制度の明確化及び活用 ② 人材確保の取り組みと人材育成研修の充実 ④ 福利厚生の実施(互助会制度) ⑤ 職員の自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映 ⑥ 資格取得のための研修会・勉強会の実施 ⑦ 働きやすい職場環境の整備 ⑧ 人事考課制度による職員の成果・能力の適正な評価 ⑨ 時間外労働削減に向けての取り組み ⑩ 年次有給制度の取得を促進(年間5日以上を義務づけ・誕生日休暇 令和2年度 法人年間休日 120日) ⑪ 多様な働き方の導入に向けての検討

5	地域の意見を反映し、地域が求める福祉サービスを実現	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な地域福祉(在宅・施設)サービスの提供 ② ボランティアの積極的活用 ③ 地域行事・まちづくりへの積極的参加 ④ 災害対応への準備 ⑤ 地域のニーズ把握と対応する福祉ニーズの検討 ⑥ 手話教室の開催(毎月1回) ⑦ 納涼祭の開催(7月下旬 ケアハウス新館) ⑧ 災害時に福祉避難場所としての要支援者の受け入れ ⑨ 地区消防団と連携を図り、利用者等の避難訓練実施 ⑩ 地区駐在所と連携を図り、地区高齢者との合同交通安全教室等開催
6	法人事業継続性の強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 食事提供等を業務委託(シダックス)から法人直営として提供(平成31年4月1日実施) 令和2年度も引き続き法人直営で食事提供を行う ② 法人組織の体制整備 ③ 財政基盤の充実・強化 ④ 収支計画の策定 ⑤ 災害時の事業継続体制の検討 ⑥ 管理者会議の充実と会議記録の全職員への周知徹底 ⑦ 地域に開かれた社会福祉法人・福祉施設の運営 ⑧ 地区自治会、地区社会福祉協議会との連携・協力 ⑨ ケアハウス新館前の県道拡幅工事により、県へ222.78㎡を売却し、代替地として隣接する250.89㎡を県より購入する。法人の基本財産として職員等の駐車場として活用する 活用するにあたって、残土を県より200㎡程度提供 工事については、令和2年8月以降の予定 ⑩ 法人本部事務局を3階及びケアハウス新館に集約を検討

○役員研修計画（令和2年度）

社会福祉法人だんのさと

日程	研修内容	場所	費用	主催
6月	社会福祉施設経営法人連絡会	福祉人材センター	無料	県社協
〃	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	〃	無料	経営協
8月	中国地区老人福祉施設研修大会		参加費要	老施協
〃	社会福祉法人経営者セミナー			県社協
〃	社会福祉法人会計実務研修			県社協
9月	経営協全国大会		参加費要	経営協
10月	福祉サービス苦情解決事業研修会		無料	県社協
〃	社会福祉法人労務管理者研修			県社協
1月	社会福祉法人組織管理実務研修			県社協
2月	人権啓発推進員研修会	鳥取県庁	無料	商工労働部
〃	社会福祉法人経営者研修会			経営協
3月	県社協総会	倉吉未来中心	無料	県社協
3月	老施協総会	倉吉未来中心	無料	老施協

※コーチ型マネジメント研修（管理者・中堅職員対象）

令和2年度 事業計画概要

施設名： ケアハウス暖の里(本館)

計 画 項 目		具 体 的 な 内 容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生によるふくしの実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
	施設の目標	(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。
事業項目	利用者へのサービス提供	①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。 ②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。 ③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸・将棋等)・レクリエーション等を実施する。 ④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 ⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 ⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。
	給食(食育)	①調理外部委託から暖の里本館直営(100食調理)にして、新館へ50食を配送する。 ②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 ③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 ④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 ⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 ⑥園芸班で玉ねぎ、ジャガイモ、しいたけ等を栽培し、給食の一助とする。
	衛生管理・環境	①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。 歯科については、いながき歯科医院に協力依頼している。 早期発見に努め、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。 ②インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。
	安全対策・事故防止	①救急法講習会・AED操作講習会等をケアハウス合同で実施し緊急時に対応できる体制にする。 ②避難訓練 年3回実施する。
	保護者・家族への支援	①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 ②入居者の方の近況報告を年2回行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。
地域との連携(地域貢献)	①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 ②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 ③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 ④手話教室を開催し、地域住民の方の参加して頂き交流を図る。 ⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ※地域への貢献として生活困窮者への生活支援の推進	

経営項目	経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ①入居率100%確保を目指している。 ②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に富める。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 ②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。
	職員管理	<p>職員研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 ②職員の資格取得にチャレンジしていく。 ③職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 ④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。
	資金計画	別紙予算書

令和2年度 年間行事計画表

ケアハウス暖の里本館			ケアハウス暖の里新館		
月	事業内容	月	事業内容	月	事業内容
4	赤ちやん先生 花見	10	赤ちやん先生 生け花	4	花見
5	選択メニユー 生け花	11	紅葉狩り 地区防災訓練参加 抹茶の会	5	生け花 選択メニユー 赤ちやん先生
6	赤ちやん先生 ちまき作り 生け花 あじさい公園	12	赤ちやん先生 クリスマス会 防災訓練 大正琴演奏会 餅つき	6	ちまき作り 生け花 大正琴
7	七夕まつり 抹茶の会 納涼祭	1	元旦祝賀会 抹茶の会 とんど	7	七夕まつり・納涼祭 抹茶の会 蛭鑑賞会 赤ちやん先生
8	赤ちやん先生 結核検診	2	赤ちやん先生 節分	8	結核検診 節分
9	敬老会 防災訓練 琴演奏会	3	ひな祭り 防災訓練	9	敬老会 琴のしらべ 赤ちやん先生 防災訓練
※職員会・誕生会 毎月実施 健康体操・口腔体操 暖喫茶(水曜日)			※職員会・希望外出・誕生会 (毎月) 健康体操・口腔体操 傾聴ボランティア隔週水曜日		

寺岡医師隔週木曜日 移動図書館隔週木曜日	～ワクワクこなん・学生実習等受入～ ～地域の運動会・納涼祭等諸行事へ参加～	移動販売(毎週水曜日) 移動理美容車(ハッピー号) グランドゴルフ5月～10月 園芸教室4月～10月 手話教室毎月第3土曜日
共通		

令和2年度 事業計画概要

施設名： ケアハウス暖の里(新館)

計 画 項 目		具 体 的 な 内 容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	1. 温和で笑顔あふれる施設の実現 2. その人らしい充実した生活の支援 3. 地域との共生による福祉の実現 4. 人間性豊かな福祉人材の育成 5. 活力ある経営の実行
	施設の目標	(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 (2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よるこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。
事業項目	利用者へのサービス提供	①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。 ②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「談話会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。 ③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸・読書等)と四季に応じたレクリエーション等を実施する。 ④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 ⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見の相談に応じると共に、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 ⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。
	給食(食育)	①暖の里本館直営(100食調理)になり、新館へ50食が配送されている。 ②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。 ③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気作りに配慮する。 ④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。 ⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。
	衛生管理・環境	①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。歯科については、いながき歯科医院に協力依頼している。 ②健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。 ③インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。
	安全対策・事故防止	①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 ②地震や火災などの災害を想定した取り組み、組織全体で災害対応に努め年3回避難訓練を実施する。 ③感染症やケガを含む介護事故の事例を個別的に分析し、予防能力に努める。
	保護者・家族への支援	①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 ②入居者の方の近況報告を行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 ③施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。
	地域との連携(地域貢献)	①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 ②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 ③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 ④手話教室を開催し、地域住民の方に参加して頂き交流を図る。 ⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ※地域への貢献として生活困窮者への生活支援を推進する。

経営項目	経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ①入居率100%確保を目指している。 ②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に努める。
	施設・整備	<ul style="list-style-type: none"> ①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 ②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。
	職員管理	<p>職員研修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 ②職員の資格取得にチャレンジしていく。 ③職員会議等で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的な開催を行う。 ④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。
	資金計画	別紙予算書

令和2年度 年間行事計画表

ケアハウス暖の里本館			ケアハウス暖の里新館		
月	事業内容	月	事業内容	月	事業内容
4	赤ちゃん先生 花見	10	赤ちゃん先生 生け花	10	生け花 抹茶の会 魚釣り
5	選択メニユー 生け花	11	紅葉狩り 地区防災訓練参加 抹茶の会	11	赤ちゃん先生 紅葉狩り 故郷訪問 オカリナ演奏
6	赤ちゃん先生 ちまき作り 生け花 あじさい公園	12	赤ちゃん先生 クリスマス会 防災訓練 大正琴演奏会 餅つき	12	クリスマス会 餅つき 故郷訪問
7	七夕まつり 抹茶の会 納涼祭	1	元旦祝賀会 料理作り 抹茶の会 とんど	1	元旦祝賀会 とんど 赤ちゃん先生 抹茶の会
8	赤ちゃん先生 結核検診	2	赤ちゃん先生 節分	2	節分 避難訓練
9	敬老会 防災訓練 琴演奏会	3	ひな祭り 防災訓練	3	ひな祭り 赤ちゃん先生 抹茶の会 夜間避難訓練
※職員会・誕生会 毎月実施 健康体操・口腔体操 暖喫茶(水曜日)			※職員会・希望外出・誕生会 (毎月) 健康体操・口腔体操 傾聴ボランティア隔週水曜日		

共通

寺岡医師隔週木曜日 移動図書館隔週木曜日 移動販売(毎週水曜日) 移動理美容車(ハッピー号)
 ～ワクワクこなん・学生実習等受入～ グランドゴルフ5月～10月 園芸教室4月～10月
 ～地域の運動会・納涼祭等諸行事へ参加～ 手話教室毎月第3土曜日

令和2年度事業計画概要

施設名： 小規模多機能施設 さとに暖の里

事業所名： 小規模多機能施設 さとに暖の里

計 画 項 目		具 体 的 な 内 容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家。
	施設の基本方針	1 温和で笑顔あふれる施設の実現 2 その人らしい充実した生活の支援 3 地域との共生による福祉の実現 4 人間性豊かな、福祉人材の育成 5 活力ある経営の実行
	施設の目標	安定的に登録者を維持、確保できるように行う。 小規模多機能の強みの柔軟なサービスを活用しご利用者、ご家族への適切なサービスを行う。 職場の環境を整え、外部研修等の活用により職員個々のスキルアップを図る。
事業項目	利用者へのサービス提供	通い・訪問・泊まりサービスに加え、機能訓練、マッサージ、季節の行事、レクリエーションで楽しみながら生活を支えるサービス提供を目指す。ご利用者の様子、行事、食事のサービス提供をSNSを活用し日々、ご家族の方へも見ていただけるよう更新を行う。
	給食(食育)	手作りで家庭料理に近い献立を立て提供する。 配食サービスにより食事支援の必要な方に支援を行う。
	衛生管理・環境	看護師による外部研修参加を図り事業所内へフィードバックを行い感染症、食中毒への対策を行う。 外部業者によるゴキブリ駆除も継続して行い厨房内の清潔を保つ。
	安全対策・事故防止	ケアカンファレンスで個別のリスクの把握を行うとともに事業所内での事例をリスクマネジメント委員会を設置し検討を行う。 毎月、ヒヤリハット担当を決めリスクに対する注意力、気づきを身に付ける。
	保護者・家族への支援	急な通い、泊まり、訪問の利用に際して出来る限り応じ小規模多機能が持つサービスの強みを最大限生かし、家族のレスパイトケアに繋がる支援を行う。 利用以外の介護相談等も受け付け介護に対する不安や悩みの相談を受ける。
	地域との連携(地域貢献)	地域の防災訓練、防災講習、小地域座談会、公民館文化祭へ出席参加し地域交流を図る。地域へバーベキュー行事で事業所の開放を行い認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る。 運営推進会議の開催により地域との連携を図るとともに開かれた事業所作りを行う。
	経営管理	登録利用者数22名を一つの目安とし収入の確保を図る。地域包括支援センターとの連携を中心に病院、居宅介護支援事業所、多事業所との連携を図る。

経営項目	施設・整備	前年度同様に上下水道のコストが上がってきていることと浴槽の老朽化もあり浴槽の見直しを検討する。 開所から12年経過し、エアコン、各居室等の戸の車輪部分の老朽化が進んでいる。計画的に優先順位の高い部分の修理を行っていく。
	職員管理	小規模多機能という事業所の特徴的な業務内容、多様な勤務形態により離職率が高い。短時間パートの雇用によりスタッフへの負担軽減を図る。 年度初めに職員個々と面談を行い現在の気持ちを聞き取る場を作る。 アニバーサリー休暇制度を導入し有給取得の推進も図り、リフレッシュを図り長期雇用に
	資金計画	別紙予算書

令和2年度さとに暖の里 事業計画書

<理念>

暖もりのある笑顔と

思いやりの心があふれる

和やかなわが家

基本方針

1. 温和で笑顔あふれる施設の実現
2. その人らしい生活の支援
3. 地域との共生により地域福祉の実践
4. 人間性豊かで、有能な人材の育成
5. 活力ある経営の実行

1 【事業目的】

介護保険法の理念に基づくと共に、地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送れるよう、「通い」「訪問」「泊まり」の3種類のサービスが受けられる小規模多機能型居宅介護を拠点とし支援することを目的とする。

2 【運営方針】

(1) 介護体制の整備

訪問機能、通所機能、宿泊機能をご利用者様やご家族のニーズに沿って必要な時に必要なサービスを提供します。

(2) 在宅介護者（ご家族等）への協力体制

家庭内において介護される方への支援を強化するため、通所サービスや宿泊サービスを組み合わせ、サービス提供をします。

(3) ご利用者様の快適な生活の実現

通所や泊まりをご利用いただきながら、各種行事に参加していただき、楽しみや快適さを享受していただきます。

(4) 医療機関と連携し心身の健康維持管理

バイタル測定等を通して、健康異常の早期発見・早期治療に努めます。医師、歯科医師との連携により各種感染症予防や嚥下障害予防等に取り組みます。

(5) 緊急時対応体制の確保

特に、介護者（ご家族等）が緊急的に、急病や外出等により介護出来ない場合に、宿泊や通いを利用していただき支援を行います。

3 【生活の流れ】

(1) 日課

日中活動は利用者様の希望に合わせてながら介護予防に着目したサービスを提供して行きます。認知症予防、運動を中心に生活の中で生きがいを見つけ状態の維持、向上を目指します。起床時間や就寝時間は利用者様ご本人の生活リズムに合わせて行います。ただし、昼夜逆転等に繋がらないよう自然な形で、生活のリズムが作られるように支援していきます。

[通い]		[訪問]
09:00～	送迎	9:00
10:00～12:00	健康チェック、お茶、体操、入浴、趣味活動、団欒 機能訓練	訪問介護・連絡など (対応時間・内容は 利用者様により違い ます。)
12:00～	昼食、服薬、後片付け、口腔ケア、休憩	
13:00～	外出、趣味活動、レクリエーション、機能訓練	
15:30～	送迎	
[宿泊]		18:00
18:00～	夕食、服薬、後片付け、口腔ケア、団欒	[訪問（夜間）]
20:00～	就寝準備、服薬、就寝	
6:00～	起床、着替え、洗面、朝食準備	
7:00～	朝食、服薬、片付け、口腔ケア	

4 [令和2年度 年間計画]

	会議	行事	レクリエーション	地域	その他
4月	調理部会議	花見ドライブ	誕生会 団子作り	東里仁防災訓練	職員面談
5月	職員会議 事業所内リスクマネジメント会議	バーベキュー	誕生会 紙相撲大会	獅子舞来所	運営推進会議
6月	夜勤者会議	回転寿司	誕生会		
7月	職員会議 行事・レク会議	七夕	誕生会 さとにオリンピック		運営推進会議
8月		納涼祭	誕生会 かき水週間		
9月	職員会議	敬老会	誕生会 おはぎ作り	さとに保育園運動会	運営推進会議 避難訓練
10月	調理部会議	バーベキュー	誕生会 公民館祭り作品作り		職員面談
11月	職員会議 事業所内リスクマネジメント会議	調理実習	誕生会	公民館文化祭	運営推進会議
12月	夜勤者会議	クリスマス会・忘年会	誕生会 年賀状書き	さとに保育園発表会	
1月	行事・レク会議	新年会	誕生会		運営推進会議
2月	職員会議	節分	誕生会		
3月	職員会議	ひな祭り	おはぎ作り		運営推進会議 避難訓練

5 【研修計画・各種委員会】

	外部	内部研修	委員会	参加対象者	運営 推進 会議
4月	小規模連絡会総会			管理者、ケア マネ、介護主任	
5月	認知症実践者研修			介護職員1～ 2名	○
6月		感染症対策研修 小規模多機能評価 研修		全職員 常勤スタッフ	
7月					○
8月	福祉職員キャリア パス対応生涯研修	認知症研修※認知 症実践者研修修了 者	事故、ひや りはっと委 員会 苦情解決検 討会	介護職員1～ 2名	
9月					○
10 月	苦情解決研修会	感染症対策研修		全職員	
11 月	防火管理者研修				○
12 月	介護保険事業の長 期安定経営研修	高齢者虐待研修		管理者 全職員	
1月	高齢者虐待研修				○
2月	認知症キャラバン メイト こやま地域包括支 援センター圏域ケ アマネ連絡会		事故、ひや りはっと検 討会 苦情解決検 討会	介護職員2名 ケアマネ	
3月					○

6 [運営推進会議]

概ね 2 ヶ月に 1 回、事業実績の報告及び活動内容を行い、小規模多機能に対しての意見を求め、事業の向上に努めていきます。

※令和元年度「地域密着型サービス運営推進会議」

○実施回数 …… 5 回（5 月、9 月、11 月、1 月、3 月）

（メンバー構成）

- ①ご利用者
- ②区長（東里仁、世紀団地）
- ③民生委員
- ④さとに田園クリニック
- ⑤鳥取市高齢社会課
- ⑥こやま地域包括支援センター
- ⑦よつば薬局

7 [安定経営に向けて]

参加 活動 広報 の3つのキーワードの実施により小規模多機能として、さとに暖の里として事業所運営を図ります。

1 参加

- ・地域へ参加することで地域に馴染みのある事業所へと変わる。
公民館行事、保育園の運動会、発表会、地域の消防訓練への参加、地区の寄り合いへの参加。

2 活動

- ・認知症キャラバンメイト受講者による地域に向けての認知症に対する理解の促進を行います。
- ・運営推進会議や地域総会へ出席し地域ニーズや交流を図ります。

3 広報

- ・広報誌の活用を図りご家族や近隣事業所だけでなく地区等での回覧をお願いします。
- ・SNS を活用し事業所の日々の出来事をリアルタイムで発信する。

図1

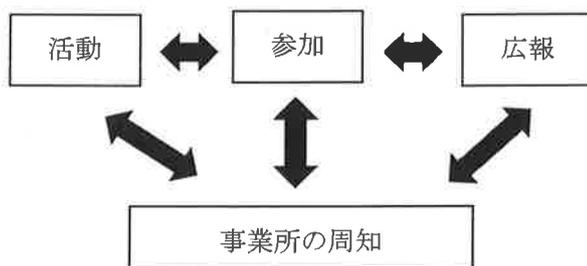


図1のように活動、参加、広報が相互作用し地域の方に知っていただけるよう活動します。

8 人材育成について

- ・今後、さとに暖の里が5年、10年先に質の高い人材が現場で業務が行えるよう以下3点の取り組みを行う。

①離職率の低下のためスタッフの労働環境への配慮を行う。

- ・来年度よりアニバーサリー休暇の導入。
- ・スタッフの面談回数の増加（年2回）。
- ・小さい単位でのコミュニケーションを図る場の再度検討。

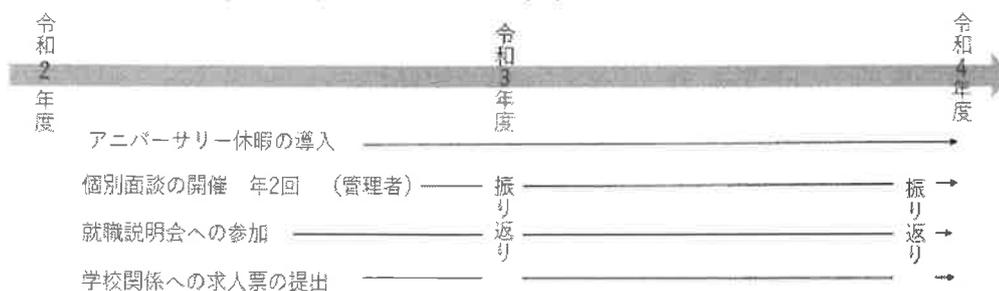
②新しい人材の発掘

- ・就職説明会への参加
- ・学校関係への求人票の提出

③研修計画に基づいて計画的な外部研修への参加

- ・スタッフ一人ずつ年に1回以上は研修に参加できるように配慮する

4か年計画



4か年計画



9[令和元年度実施の運営推進会議評価結果、改善計画]

※別紙参照

令和2年度 デイサービスセンター暖の里事業計画

(1) 事業の目的 運営委方針

- ・社会福祉法人 だんのさとデイサービスセンター運営規程に基づき適正な通所介護を提供することにつとめるものとします。

(2) 今年度の重点目標

- ・デイサービスでの取り組み等を居宅介護支援事業所や、ご家族、地域にアピールする事により、新規利用を増やし、利用率の安定を目指します。

(3) 情報公表 自己評価

- ・介護サービス情報の公表制度にて、自己評価を実施。また事業所独自に利用者、家族にアンケートを実施しサービスの向上を図っていく。

(4) 苦情解決

- ・利用者からの苦情を処理するために講ずる措置の概要及びマニュアルに基づき、利用者からの苦情に対し適切な解決に努める。

(5) 諸会議

- ・毎月1回利用者に関する情報、サービス提供に関しての留意事項に関わる伝達、法人からの伝達事項、翌月の行事予定、レクリエーションの決定、利用者からの要望、介護職員からの要望現場での困難事例等に関する会議を開催。

(6) 年間行事

4月・・・花見	10月・・・運動会
5月・・・鯉のぼり	11月・・・紅葉ドライブ
6月・・・ドライブ	12月・・・クリスマス会
7月・・・七夕	1月・・・初詣
8月・・・ドライブ	2月・・・節分
9月・・・敬老会	3月・・・ひな祭り

(7) 研修

①職員全員に1年間の内容 研修期間等を定めた研修計画を作成し、計画に基づき実施する。(所内研修)

②職員に対する個別研修の実施

(外部研修 行政等主催の研修への参加)

月	テーマ		月		
4月	個人情報の保護		10月	実技 移乗	
5月	介護保険制度について		11月	虐待権利 について	
6月	認知症ケア		12月	緊急時対応	
7月	感染症 脱水		1月	倫理法令遵守	
8月	医療について		2月	ヒヤリハット	
9月	接遇マナー		3月	実技 入浴	

令和2年度 ホームヘルプステーション暖の里事業計画

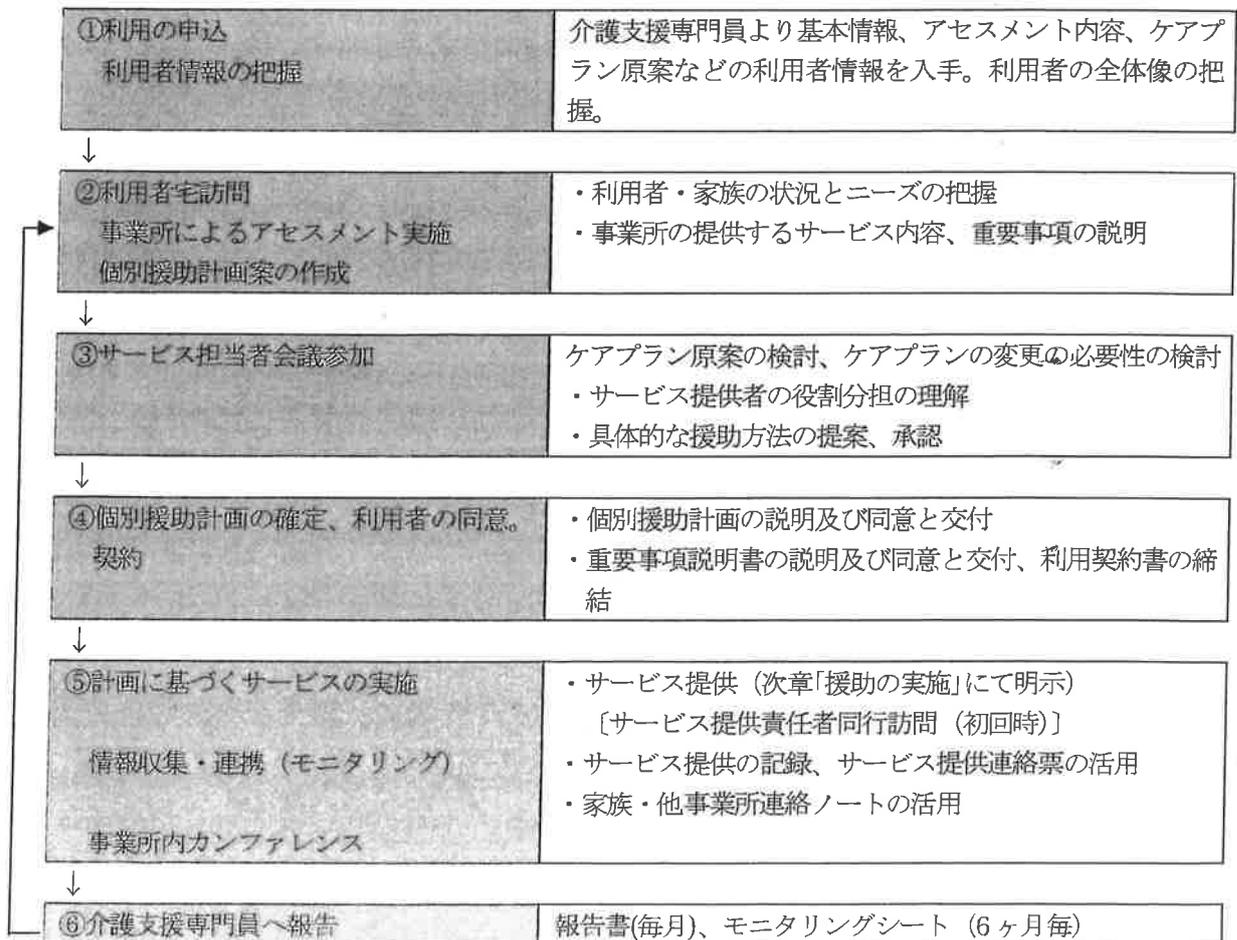
(1) 事業の目的 運営の方針

社会福祉法人 だんのさとホームヘルプステーション暖の里運営委規定に基づき適正な訪問介護を提供することに努めるものとします。

(2) 今年度の重点目標

・利用者が出来る事を維持・継続し、楽しい生活を送れるよう、専門性の高いサービス提供に努める。

(3) 利用者援助の展開過程



(10) 研修

① 訪問介護員全員に1年間の内容 研修時期等を定めた研修計画を作成し、計画に基づいて実施する。(所内研修)

研修の具体的計画、実施等の管理はサービス提供責任者が行う。

② 訪問介護員に対する個別研修の実施

(外部研修、行政等主催の研修)

令和2年度 研修予定 ホームヘルプステーション暖の里

月	研修テーマ	備考
4月	接遇・コミュニケーションについて	
5月	感染症・脱水・熱中症について	
6月	虐待防止・身体拘束	
7月	オムツ交換(実技)	
8月	認知症ケア	
9月	緊急時の対応	
10月	介護保険について	
11月	医療の知識について	
12月	移乗(実技)	
1月	個人情報の保護	
2月	ヒヤリ・ハット 事故再発防止	
3月	倫理・法令遵守	

※全員参加できない場合は、記録者が欠席者に伝達を行う
※外部研修に参加された方は伝達研修をお願いします。

令和2年度事業計画概要

施設名：

事業所名： 居宅介護支援センター暖の里

計 画 項 目		具 体 的 な 内 容
基本項目	施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
	施設の基本方針	1、温和で笑顔あふれる施設の実現 2、その人らしい充実した生活の支援 3、地域との共生による福祉の実現 4、人間性豊かな福祉人材の育成 5、活力ある経営の実行
	事業の目標	(1)利用者・家族との信頼関係の構築 (2)安定した事業所運営(利用者数の確保) 介護・予防(1/2) 月平均 70件 840件
事業項目	利用者へのサービス提供	①介護保険制度に基づき、要支援・要介護認定の利用者が適切な介護サービスを受けられるよう、一人ひとりの意向を尊重し介護サービス計画を作成し、介護サービスの実施をする ②利用者とサービス提供事業者との連絡・調整をする ③介護に関する問い合わせの相談窓口となり 適切な相談・助言を行う 相談受付表に記載する
	給食(食育)	
	衛生管理・環境	手洗い、うがい、マスク等 感染症対策をする(持ち込まない、持ち出さない)
	安全対策・事故防止	公用車使用時は車の点検・安全運転を実施する
	保護者・家族への支援	家族の介護負担を軽減する 利用者の残存能力を活かし自立支援を推進する 利用者の状態変化で介護保険変更申請の必要があれば家族に状況報告をする 予防教室
	地域との連携(地域貢献)	こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える こやま包括主催の研修に参加する 近隣の利用者の在宅支援をする
経営項目	経営管理	コスト・件数の意識を持ち活動する こやま包括と連携を図り利用者数確保に努める 制度を理解し安定した経営に努める 契約書・重要事項説明書を確認する
	施設・整備	整理・整頓・清掃を行う 公用車の管理をする
	職員管理	年1回の職員検診を受ける(検査結果を受け医師の意見に従う) 自己の体調管理(身体・精神を整える)をする 新人研修プログラムに沿って人材育成する(各担当者) 研修の推進 業務マニュアルの策定と標準化(分掌事務分担)を進める
	資金計画	別紙予算書

